



①3月議会一般質問「旧上田市の自校給食室がすべてなくなる・・・」
②いよいよ憲法の危機が現実のものになってきた・・・

2016年3月

メールアドレス: masahiro3660@mac.com 上田市下之郷 473-1 TEL38-4452・FAX38-7935・携帯 09015542698 【わたなべ正博後援会】

「民間委託」ではなく「直営」で

Q 上田市の今後の学校給食運営方針で、配送業務を含めた「直営」の継続の判断自体は歓迎するものですが、その理由は。

A 上田市の給食センターは、自校給食に近い給食を目指し、手づくりと素材の味を大切にしながら給食づくりを続けてきた。

このように調理現場の栄養士と調理員が中心となり、長年かけて蓄積したノウハウを生かした給食づくりを今後も「直営」により継続したいと考えた。

将来は一カ所のセンターで・・・

Q 「真田、武石地域の調理場（自校給食室）」について、「当面現施設の利用可能な間は現状維持」という方針は、老朽化後は川辺小、東塩田小学校の自校給食と同様、センター化という意味か。

A 今後の児童生徒数の推移、今後の施設の老朽化の状況、配送距離などの要素を勘案して、今後、考える。

「できるだけ」手作りを続ける・・・

Q 「給食の質の低下はあってはならないもの」という過去の答弁だったが、統合給食センターでも、これまでの「自校に近く、手作りによる調理」は維持、向上されることか。

A 「できるだけ手作りによる調理」の取り組みは、新しい給食センターにおいてもできるだけ続けていきたい。

改築の検討もせず・・・老朽化したからセンターへ

Q この方針により、具体的に東塩田小学校、川辺小学校の給食や子どもたちの何がよくなるのか。

A 今回の方針は、東塩田小、川辺小学校等個別の学校への対応を中心に検討したものではなく、全学的な学校給食の今後の方針を示した。

この方針により、特に老朽化の著しい第二学校給食センター、川辺小学校、東塩田小学校の給食施設が新しくなり、衛生面や作業環境が向上し、より安全で安心な給食づくりができる。

丸子給食センターでは「松茸給食」はムリ・・・

Q 東塩田小学校の「松茸給食」のような特徴がある、今までできていた給食が引き続きできるのか。

A 自校給食で実施していた内容がそのまま給食センターで実施できるといってもではない。ただ地域の方々の協力により調理室を使って、特色あるメニューを作るといった方法もある。



裏面へ

くらし・困りごと
なんでも相談
気軽の声をかけてください

わたなべ正博のノート

[3月]

- 1日～2日 一般質問
- 3日 さくら国際高校卒業式
- ・議会広報特別委員会
- ・党市議団会議
- 4日 生活相談（市営住宅）
- 5日 モルティー塩田街演
- 6日 生嶋足島神社「御柱」山出し
- ・塩田地区自治会連合会総会
- 7日 上田駅前モーニングスピーチ
- 8日～9日 議会産業水道委員会
- 10日 議会代表者会
- ・農政議員連盟役員会
- 11日 党市議団会議
- 12日 モルティー塩田街演
- ・戦争法を廃止させる市民のつどい
- 13日 中組自治会敬老会
- ・東塩田防犯協会総会
- 14日 浅間池代表会
- 15日 学校給食についての説明会
- 16日 3月議会閉会
- 17日 東塩田小学校卒業式
- 18日 東塩田交通安全協会総会
- 19日 「アベ政治を許さない」SD行動
- ・東塩田保育園卒園式
- ・あゆみ保育園卒園式
- ・下之郷水土里まもり隊総会
- 20日 東塩田消防委員会
- 21日 唐沢ちあき（比例）上田駅前演説
- 22日 土地開発公社理事會
- 23日 議会広報広聴モニターとの懇談会
- 24日 議会代表者会
- 25日 党市議員団会議
- 26日 国会へ
- 27日 上小農民センター役員会
- 28日 生嶋足島神社総代会総会
- 29日 下之郷三頭獅子舞保存会総会
- 30日 上田駅前モーニングスピーチ
- 31日 議会代表者会
- 議会産業水道委員会

(3月10日現在)

090-1554-2698

説明は東塩田小・川辺小の範囲で・・・

Q 今回の方針転換は、一部地域にとどまらず全市的な議論が必要な案件である。どう市民のみなさんに説明し、意見を聞くのか。

A 今回の方針は、平成23年の学校給食運営審議会の答申の趣旨を踏まえたもので、ほとんどの学校では大きな変更はありません。

このため、自校方式からセンター方式に移行となる川辺小学校、東塩田小学校を中心に説明会などを考えている。



運営費の比較（自校とセンター）

建設費用は、ランチルーム付き200食の真田中学校（自校式）が約1億円かかっています。一方、センターの場合、27校分を調理する松本市西部センターの建設費は27億円。1校あたりにすれば変わらない。

また、大型センターの調理機械は受注生産品で、ただでさえ高額なだけでなく、メンテナンス費用も毎年10〜100万単位と言われています。実際、上田第二給食センターの決算でも、25年度には配送車460万円、マイコンスライサー160万円、熱風消毒保管庫130万円、26年度には回転釜用蒸気配管取替76万円、真空冷却機70万円等の経費がかかっています。

運営費の比較とは、人件費だけでなく本来、こうしたものすべて含めて、将来にわたる経費として比較すべきものです。

また児童数の減少が人件費の減少につながりにくいのは、自校だけでなく、逆に大型の機械・設備で合理化された大規模センター方式こそが、各学校への配送人員も含め、調理員を減らし人件費を抑えることが困難です。

安倍首相は夏の参院選で改憲を争点とする意向を明らかにしています・・・いよいよ 憲法9条の危機が現実のものになってきました

改憲の根拠にされているのが、「憲法守って国滅ぶ」という意見です・・・

まず、国民の生活あつてこそ憲法であり、憲法を守って他国に蹂躪されることなどあつてはなりません。

戦前と同じ間違い

憲法を変えて戦争できる国になれば、アジアで孤立し、戦前の日本と同様の間違いを犯して存亡の危機に追い込まれるでしょう。

日本が71年前に経験したのは、このような「国滅ぶ」実例そのものではありませんか。

国際紛争の種

またそれは、他国の紛争に介入して多大な人命を奪い続けてきたアメリカの過

憲法守るに不都合なし

戦後の日本は「憲法守って国栄える」道を歩んできました。そのどこに不都合があったというのでしょうか。憲法9条を守って得られた平和という果実を、じっくりと噛みしめなければなりません。これまでの歩みを変え、

「アベ政治を許さない」「憲法9条を守る」訴えをしています（モルティエー塩田前にて 毎週土曜日 11:15）

「わたしは何を残しただろう」と唇をかんで自問するようないきなり避けたい・・・。



神畑交差点